

# ひろば大代

No 270

大代公民館

H 14.1.11



生きていられる  
心豊かに暮らせる  
町づくりを

大代公民館長

横手 新治郎

新年明けまして

おめでとう

ございます。

家族そろって良い年  
をお迎えになられた  
こととお喜び申しあ

げます。

昨年、平成十三年は、大きな期待と希望を持って、穏やかに迎えた二十一世紀初めての年でしたが、結果は、同時テロと戦争が残した衝撃の余波が残る中で越

年しました。

資本主義の象徴と言えるアメリカの10階建てビルが、テロの標的となりましたが、このようなことは、「対岸の火事」ではなく、世界中に似たような事件がしばしば起きています。

英国で発生した狂牛病がわが国でも見つかかり、牛肉は売れなくなり、市場価格が暴落して、農家を困らせていますが、この事件は、国際化時代がここまで進んできたことを物語っています。

大代町に目を転じて見ますと、人口が昨年遂に600人を割りました。

昭和五十二年の人口は999人でしたが、昨年十一月には598人となり、25年間で401人減り、平均して1年間に約16人づつ減ったことになりました。今後をもっと速い速度で減少し、集落組織が崩壊することも予測できます。



このような時にあたり、二点を提案したいと思います。

昨年末、日本の完全失業率は5.5%

となり、戦後最高の率となっていますが、景気回復の兆しは一向に見えてきません。このような不況の時代こそ、過疎地・田舎の者が頑張るチャンスであり、また正念場であると思います。それは、今、日本にIT(情報技術)革命が起こっていることです。

情報技術は距離感が無く、時差も無い。つまり、地理的ハンデーキャップを克服できる有力な手段であるからです。

澄田知事は、「島根は鉄道や道路などあらゆる、インフラ整備は遅れを取ってきた。しかし情報化は今全国一線。これだけは遅れてはならない。県民一人一人が情報技術を体の一部に取り込み、血や肉にすることが必要で、それぞれが主体的に取り組んで欲しい」と訴えておられます。

大代町の活性化は、大代からの情報の発信と世界の情報を取り込んでいく事から始まります。今、何もしないでいては、将来何も起こりません。今こそ、情報技術を活用した町づくりを考えるとすべきでは

ないかと思ひます。

公民館では、情報技術の初歩的な知識を身につけていただくために、島根県・市等の支援を受けて、パソコン教室を開催しておりますので、是非ご参加いただきませうようお願いいたします。

二点目

大代町の高齢化率は46.8%。少子高齢化と若者の町離れには歯止めがかかりそうにありませんが、こんな町で生きていく我々自身のしあわせをどのように描き、そしてつくっていくためには、どのように行動したらよいのかを、考えることから始めなければいけないと思ひます。

介護保険制度は出来ましたが、介護を必要とする時に、直ちに誰もが利用できる制度になるまでには、程遠いはなしです。人として、いきいきと生きていくことの出来る地域を、自らの手でどうしてつくるのか、知恵を出し、話し合い、行動を起こす時ではないでしょうか。

テロ事件後の世界は、大きく変わりつつあります。この変動に機敏に、的確に対

応していけるかどうか、地域の盛衰にもつながります。今の不況を乗り越える気力と体力も必要ですが、明日を築くためには、新しい「時代」に適した活力と知力が不可欠となります。不況だからこそ元氣を出して、みんなで作え、みんなで行動を起していく年にしたいものと思ひます。一層のご指導・ご鞭撻をお願ひ申し上げます。

## 年頭のご挨拶



東京石見高山会会長 楠 義見

新年明けまして

おめでとうございます。

二千二年の年頭にあたり、お祝詞を申し上げます。早いもので、二十一世紀も二年目を迎え、今世紀は平和で明るい世紀になることを願ひ期待していましたが、国の内外でいろいろな出来事がおこり、中でもアメリカ同時テロやアフガン攻撃と血生臭い事件が続いています。昨年年末には皇孫妃殿下愛子様のご誕生で氣持

ちも晴れやかに期待の持てる年になる予感さえ致します。

世の中は情報通信技術も急激に発展し、遠いと思つていた「ふるさと」大代の様子も身近に感じ、過疎・高齢化を吹き飛ばされるご活躍振りは、私達に勇氣と活力を与えて頂いております。

本年も構造改革・構造改革と叫ばれ、世の中は変わりましても「ふるさと」大代という後ろ盾がある限り安心です。

今年こそ景氣が回復して、平和で穏やかな暮らしが送られますことを願ひますと共に、皆様のご健康とご多幸を念じ年頭の挨拶とさせていただきます。

## 新年のご挨拶



関西高山会会長 田中公道

新年明けまして

おめでとうございます。

皆様にはお健やかに初春をお迎えの事とお慶びを申し上げます。

田辺正義会長の後任としまして、引継ぎをさせて頂きました関西高山会三代

日会長の田中公道でございます。どうか  
宜しくお願い申し上げます。

関西高山会は、本年六月十六日に第  
十一回総会を開催予定であります。

二十一世紀は戦争の世紀と言われて、  
二十一世紀が輝かしい未来と世界平和  
の到来となる事を願っていましたが、今  
世紀は初頭から多くの悲惨な出来事が  
起こってしまいました。

今こそ、世界が平和であります為に世  
界の人々が共に手を携えなければなら  
ないときだと思っております。故郷を共有  
する私たちは、更なる親睦と高山会の発  
展を願っております。

大代高山会、東京石見高山会の各地  
を結ぶ高山会交流が、益々盛んになり  
ますよう心より祈念しまして、新年のご  
挨拶とさせていただきます。

### 俳句

あすなろ句会

大田市 原田萬里

床上げの祝いもならず年迎ふ  
不況でも小さき注連を飾りけり

下市 渡あやこ

庭に来る小鳥眺めし冬座敷

年古りし箆筒にほのと雪明かり

柿田 横手いちえ

離れ住む孫の片言初電話

日めくりのただ過ぎゆきし冬座敷

八反田 森 信子

群鴉木々移り鳴く吹雪かな

柏手に願ひごと多々初詣

椿 花田時子

暖かくあたたかくして冬座敷

我を呼ぶ声のしたよな虎落笛

下市 今田文子

有り明けの車に積る雪の高

孫去りて元の静けさ冬座敷

川上 岩田律枝

正月や夫の手枕孫眠る

子等発ちて又二人なる老の春

椿 柿丸寿枝

迂回地囃雪を払ひて確かむる

ひたむきに生きて籠るや冬座敷



※お詫びと訂正

先月号の民生児童委員交代のお知  
らせの中で「六年」は「九年」の誤りでし  
た。お詫びして訂正致します。

\*\*\*\*\*

\* 二月行事予定 \*

\*\*\*\*\*

▼ 一日(金)福祉委員会

▼ 十日(日)福祉弁当

▼ 二三日(土)連合自治会

◎ 幼・小PTA・公民館 合同講演会

日時 二月十七日(日)午後一時半

場所 大代小学校

講師 福島明淑氏

(韓国出身、浜田市在住)

◎ 大代地区社協より

上市 横田正子様から

香典返しにかえ金一封のご厚志を頂  
きました。厚くお礼申し上げます。